

2023年11月6日作成 Ver.1.2

《情報公開文書》

90歳以上の超高齢者の口腔癌治療に関する後ろ向き観察研究

研究の概要

【背景】

近年、超高齢化社会となり、高齢で口腔がんの罹患した患者さまも増加傾向にあります。口腔がんの治療は手術療法が第一であり、我々は暦年齢は手術回避の理由にはならず、全身状態に応じて個々に評価し、治療適応を決定すべきだと考えております。

【目的】

そこで今回我々は90歳以上で当科を受診した口腔がん患者さまの治療成績および予後について検討し、これまでの治療適応について検討することを目的としました。

【意義】

この研究結果により、より適切な超高齢者の手術適応について判断することができる考える。

【方法】

既報告にある高齢者概念区分から、fit（非高齢者と同様の標準治療ができる患者）、vulnerable（標準治療は困難であるが、何らかの治療ができる患者）、frail（手術適応ではない患者）に分類し、それぞれの生存率について検討します。

対象となる患者さん

2008年6月1日から2022年6月30日に長崎大学病院口腔外科を受診した90歳以上の口腔がんの患者さま。病理組織学的に口腔扁平上皮癌以外の患者さまは除外していません。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。本研究は診療録より患者情報として性別、初診時年齢（口腔癌を主訴に受診した時点の年齢）、原発部位、PS、G8 スコア、身長、体重、BMI、TNM 分類、術後病理組織学的所見として転移レベル（I～V）、pT 分類、pN 分類、リンパ管浸潤、脈管浸潤、神経周囲浸潤、切除断端（陰性もしくは近接）、ENE の有無、治療および転帰として術後補助療法の有無、口腔癌の治療開始日から局所再発、頸部再発および遠隔転移発症までの期間、期間内最終受診日時点での予後（無病生存、担癌生存、原発死、他病死について）について収集します。

情報の利用開始予定日 / 提供開始予定日

本研究は 2024 年 1 月 23 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2025 年 12 月 31 日

研究実施体制 【単機関】 ※実施体制に合わせて適宜必要な情報を記載してください

研究責任者	所属：長崎大学病院 口腔外科 氏名：鳴瀬 智史 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7698
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 口腔外科 鳴瀬 智史

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7698 FAX 095 (819) 7700

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）